



## 1 令和3年度 穂波東校小中経営部会（第11回）

今回の経営部会では、ICTを活用した新しいスタイルの「かけ算九九ボランティア」（11月29日～）、3学期から改めてスタートする「チャレンジ授業」等について話し合いました。

また、「だより第5号」でもお知らせしました「令和4年度 小中一貫教育全国サミット in 飯塚」に向けた話し合いも行われました。

### (1) 「令和4年度 小中一貫教育全国サミット in 飯塚」に向けて

現在、小中経営部会で着々と準備を進めています。既に、研究紀要の項立は決まり、年度内の「研究紀要の第一次原稿」の完成を目標に取り組んでいます。そして、来年度当初に第一次原稿を基に研究発表会の全体像を先生方にお伝えする予定です。

研究発表会では、すべてのクラスで授業公開を実施します。どのクラスも「穂波授業スタンダード」をベースとして、「学力向上（協調学習等）」「プログラミング教育」「英語教育」「ICT教育」「キャリア教育」「異学年交流」等のテーマに沿った授業を公開していただく予定です。

これからも小中経営部は「無理・無駄のない取組」を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

## 2 小中一貫教育に基づく「新しいスタイルのキャリア教育」

～ 体験型学習プログラム：「スチューデント・シティ」「ファイナンス・パーク」～

### (1) 飯塚市キャリア教育推進モデル校

飯塚市では令和5年度から市内小中学校において「新しいスタイルのキャリア教育」に関する教育プログラムを導入します。それは児童生徒が「キャリア教育の学習プログラムを体験できる施設」に行って、「企業の活動」「生活とお金の関係」「銀行の役割」等を体験的に学習する教育プログラムです。

この教育プログラムは、子どもたちに様々な経済教育に関する教育プログラムを提供する活動に取り組んでいる「公益社団法人ジュニア・アチーブメントジャパン（JA Japan）」が作成したものを活用します。

穂波東校ではその調査研究協力校としてモデル校の指定を受け、来年度より実際にその教育プログラムに基づいたキャリア教育に取り組みます。

### (2) 教育プログラムの概要

仙台市、いわき市、京都市等で既にこの教育プログラムに基づいたキャリア教育が実施されています。そこで使用された単元計画や学習シート等を活用して、同様の教育活動を実施することになります。

体験活動は1日のみです。事前学習に6時間、事後学習に2時間がこの教育プログラムの全体時間です。対象学年は小学校5年生と中学校7年生です。体験活動はすべて地元の企業のバックアップの下、実施されます（「飯塚市：お仕事スタジアム」をイメージして下さい）。

### (3) 教育プログラムの具体的内容

別紙資料として、現在この教育プログラム導入の中心的な役割を担っている中学部 犬丸教頭先生が作成した資料：「キャリア教育（JAプログラム）」を配布しております。ぜひ参考にされて下さい。